

---

## 新刊書紹介

---

### 日本海草図譜 [改訂版]

大場達之・宮田昌彦 著, 北海道大学出版会 (2020 年)/  
A4 上製, 156 頁, 10,000 円+税

日本海草図譜は, 日本産の海草全種を網羅した初めての図鑑として, 北海道大学出版会より 2007 年 2 月に刊行された。本書は日本で初めての海草専門の図鑑であることに加え, 大型スキャナーや透過撮影を駆使した高精細な写真で生時の色を再現した点でも画期的であり, 一般的な植物標本と同じ A3 版の超大形な書籍である点でも他に類を見ない図鑑であった。今回, 大きさを A4 版に変更し, 内容も刷新した改訂版が 2020 年 10 月に刊行された。

改訂版では, 分類体系が APG 分類体系 IV に変更されており, 1 目 5 科 12 属 26 種が記載されている (2 亜種, 1 変種, 4 雑種を含む)。第 1 章の「日本産海草概説」では, 海草の研究史と各種の系統関係がより詳細に記述されており, 第 2 章の「科, 属, 種の検索と記載」では, ウミヒルモ類やカワツルモ類の分類に関する近年の報告と著者らの考え方が詳細に記述されている。また, 日本には生育しないが, ロシア産と韓国産のアマモ科 2 種に関する情報も紹介されている。第 4 章の「日本海草図譜」では各種の外形や葉, 花などの写真, 内部の組織構造の写真が数多く掲載されており, 同定の際に有益であると共に, 海草類の美しさに感嘆することは間違いない。この高精細な写真は, 大型スキャナーで画像を取得すると共に, 水中の状態のままで透過撮影した著者らオリジナルの技術とのことであり, 世界でも最も美しい植物図鑑のひとつとして高く評価される。また, 第 5 章の「海草の群落体系」では海草各種の垂直分布構造が記述されており, 第 6 章の「海草と人とのかかわり」では, 生活資材や宗教的な道具としての海草類の利用と共に, 海草藻場の重要性が記述されている。特に, 改訂版の 6 章では, 絶滅危惧種としての危急度と保全の重要性が大幅に加筆されている。最後の第 7 章では, 各種の検索表や分布, 標本等の情報が英文で記載されており, 海外の研究者にとっても利用しやすい配慮が見られる。改訂版は, 高精細な写真や詳細な記述などの初版の素晴らしさはそのままに, 最新の知見に基づいて内容を大幅に刷新した「新たな」図鑑であり, 研究者のみならず, 一般の方にも最適な海草図鑑として強く推薦する次第である。

(鹿児島大学 寺田竜太)